6月の村の人口　＝45年6月末日現在＝

世帯数　1,083
人口　4,678（男 2,301人　女 2,377人）
6月の住民移動　出生5人（男3・女2）　死亡8人（男3・女5）
転入16人（男6・女10）　転出17人（男4・女13）

広報やまこし

発行所
新潟県古志郡
山古志村役場
電話 竹沢局
17 23 78
印刷所
大川印刷所

主な記事

○十一回めを迎えた国勢調査
○梶木小〃子ども郵便局〃表彰される
○第二回村民運動会は二十二日に開催
○農林水産業振興資金一覧

かっぱ天国

水泳は子どもたちにとって天国…………
赤い水着、黄色い水着、日焼けした子カッパが歓声をあげてはねるたびに、しぶきがキラキラ光る。

さる7月18日完成した梶木小学校の簡易プールで

11回めを迎える 国勢調査

生活に政治に生きる国勢調査

十月一日現在でいっせいに

ことし十月一日には、十一回めの国勢調査が実施されます。国勢調査は全国、都道府県、市町村の人口の大きさや構成を明らかにし、国の政治や行政はもちろん、都道府県や市町村の行政に直接役立つ資料を得るために行なわれるものです。〃国勢調査〃という言葉はだれもが何回か耳にしている言葉だと思いますが、どんな調査なのか簡単に説明してみましょう。

第一回めは大正九年に

わが国で最初に国勢調査が行なわれたのは大正九年で、いまから五十年前のことです。それ以前は明治五年の「戸口調査」以来国民の戸籍調査はできていたのですが、かなり不正確な点があったうえに、人口のくわしい状態はわかりませんでした。

正確な人口を知るためには一定の時点に、全国いっせいに調査を行なうことが必要であり、これを行なうのが国勢調査です。

大正九年の第一回国勢調査のときは、国民全体が大変な熱の入れようで成績は大成功でした。国勢調査はそれから引き続き五年ごとに行なわれてきましたが、その結果は世界各国のうちでも非常に正確度が高いといわれていました。

戦後、日本の国勢調査は「統計法」という法律にもとづいて実施されており、この法律は昭和二十二年に統計全体のしくみを整理したり、統計制度の改善発達をはかるなどのために定められたものですが、その中で「国勢調査は十年ごとに行ない、その中間の五年めには簡易な方法による国勢調査を行なう」と規定しています。

ことし行なわれる昭和四十五年国勢調査は、十年ごとに行なう大規模な調査にあたっています。

国勢調査のねらい

国勢調査は国全体の大きさだけでなく、都道府県、市町村ごとの人口の大きさや男女別、年令別、職業別の構成、世帯数とその種類などあらゆる面から調べて行政上に直接役立つ資料にするものです。

国勢調査の結果は、例えば議員定数の決定、雇用、産業、教育、住宅問題、社会保障、環境衛生、交通対策、将来の人口推計などに欠くことのできない重要な資料として広く利用されます。また、市町村財政に占める割合の大きい地方交付税の算定基礎に用いられていることは知られているとおりです。

最近、経済の急速な発展につれ農村から都市への人口移動が激しく、とくに農漁村では人口の著しい流出で過疎現象が生じ、その対策が都市における過密問題とならんで緊急の課題となっています。

このような重要な意味をもつ調査でありますから、正確な調査ができますようみなさんのご協力をお願いします。

貯金するよい子たち

梶木小子ども郵便局にごほうび

ボク今月は三百円だ、先月は小遣いを少し使いすぎたかなア……毎月貯金日になるとこんなささやきが聞かれる。

梶木小学校の四十四人のよい子たちは、このほど〃優良子ども郵便局〃として長野郵政局長から表彰されました。

よい子たちは毎月五日〜十日のうち一日を貯金日と定め、小遣いを節約したもの、家事の手伝でもらった駄賃など尊いお金を貯めており、もう預金総額は十六万円に達し一人平均三千七百円になっています。

貯めたお金は修学旅行の費用に、自転車を買う資金にと子どもたちの夢を大きくふくらませ、自然のうちに貯蓄心を育てています。

ちなみに、子ども郵便局の数は全国でざっと四千局、七十万人の児童生徒が貯めたお金は約三十億円、子ども郵便局以外の学童の貯金も加えると、しめて百億円を越えています。

物価が上って貯金どころではないとこぼすおとなに聞かせたい話です……。

新潟県の人口は何人…？

懸賞募集中です

十月一日午前零時現在で行なわれる国勢調査による新潟県人口はいくらになるでしょうか……。いま、懸賞募集していますので、ふるってご応募ください。

○応募方法＝官製はがきを使用し、一枚に一点の予想人口と住所、氏名を記入する

○締め切り＝十月一日（当日の消印有効）

○送り先＝新潟西局区内新潟県企画開発部統計課内、国勢調査新潟県実施本部あて

○賞金＝本年十二月末までに公表される人口に的中したもの、または近似の数により入賞者を決定する

一等一人五千円　二等一人三千円　三等一人二千円　入賞十人各五百円

○発表＝十二月末までに新潟日報「にいがた県の窓」に発表するとともに、入賞者に通知する。

（参考）最近の新潟県の人口

昭和40年　二、三九八、九三一人
昭和41年　二、三八三、九二五人
昭和42年　二、三八一、四八二人
昭和43年　二、三七五、二〇〇人
昭和44年　二、三五七、七四七人
（昭和四十年は国勢調査人口、その他は推計による）

統計功労者で表彰

このほど橘福壱さん（写真六十歳・寺野）は統計功労者として新潟県統計協会総裁（知事）から表彰されました。

橘さんは戦後統計調査員として国勢調査五回、農林業センサス五回、漁業センサス一回など重要な国の指定統計をはじめ、県や村で実施した各種統計調査を手がけ、精度の高い統計づくりに努力された功労が認められ、さる七月二十一日新潟市建設会館において表彰状を授与されたものです。

本当におめでとうございました。

人口あれこれ

一行知識

☆日本の総人口……一億二六五万人。世界では中国七億三千万人、インド五億二千万人、ソ連二億四千万人、アメリカ二億人、インドネシア一億一千万人、パキスタン一億一千万人について第七位。

☆世界の総人口……三五億人

☆第一回国勢調査（大正九年）における人口……五五、三九一、四八一人

☆人口の男女比……総人口では女百人に対して男九六・六人。しかし出生時には女百人に対して男が百五・三人で男が多いが、年令が多くなるにしたがって男の比率がさがり、二十歳以上では女が多くなる。

▼**農地の調査にご協力を**

農地の移動や現況を明らかにするため、農地法にもとずき八月一日現在における自作地や小作地の面積、農地の移動状況などについて二十五日ころまでに調査します。もよりの農業委員のみなさんがお伺いしたときは、何分のご協力をお願いします。

○農家における事前準備

調査が円滑にできるよう次の点について事前に調べておいてください。

1、農地の売買や転用などがあったときは、当該農地の字名、地番、面積、買受人、転用面積または災害によるつぶれ地の面積など

（農業委員会）

▼**造林用苗木の追加申し込みを受付中**

秋植えの造林用苗木の申し込み期限を延長し、締め切りを八月十四日までとしました。杉苗、桐苗など希望者は数量を問わず役場にお申し込みください。

ただし補助対象となるには杉の場合で一団地十アール以上に三百本以上の植栽が必要です。

（産業建設課）

▼**狩猟者講習会の開催**

経験者、初心者向の狩猟者講習会が開かれます。猟銃の正しい取り扱いなどについて受講してください。会場はいずれも長岡市、中越婦人会館です。

○とき　八月二十二日午前十時から
（経験者課程）

○とき　八月二十三日と二十八日　いずれも午前十時から
（初心者課程）

○受講資格　県内に住所を有する満二十歳以上の者で、本年度の狩猟免許を受けようとする者に限ります。

○受講申込み　決められた申し込み書に収入証紙（初心者七百円、経験者四百円）をはり、開催日の三日前までに中部林業事務所（長岡市今朝白）に申し込むこと。

くわしいことは役場においたずねください。

（産業建設課）

▼**青木アナの講演会**

村商工会では好評の講演会を次のとおり開きます。

講師はテレビでおなじみのNHK青木一雄アナウンサーで対人関係における話し方などについて、ユーモアをまじえた独特な話術で有益なお話が期待されます。

主催者では大勢のみなさんのご聴講を望んでいます。

とき　八月二十四日
午後七時〜九時
ところ　虫亀小学校

（総務課）

▼**〃自衛官〃募集中**

防衛庁では、平和を守り国をささえる若い力を求めています。自衛官を一生の職業としたい人、技術を身につけたい人、規律ある団体生活で心身を鍛錬したい人……若いイネルギーが思いきり生かせます。

さあ胸をはって志願してください。

○受験資格は＝入隊する月（毎月入隊）の一日現在で満十八歳以上、二十五歳未満の男女です。

○試験は＝中学校卒業程度の学力についての筆記試験（国語、数学、社会および理科）身体検査、簡単な適性検査です。

○身分と待遇は＝特別職の国家公務員で本俸二万五百円、昇給年一回、賞与年四、五か月分、衣食住、医療はすべて無料で実質給与月額は約四万円になります。

○その他の特典は＝普通・大型・特殊車両免許、二・三級自動車整備士、熔接士、測量士、無線通信士、航空管制官、X線技士、栄養士などの国家免許が取れます。

○志願手続は＝受験を希望される方は役場または直接自衛隊新潟地方連絡部長岡出張所（長岡市摂田屋）電話③〇二五六におたずねください。

（総務課）

▼**巡回診療の実施**

長岡医師会の協力によって、次のとおり無医地区巡回診療を実施しますので、ご利用ください。

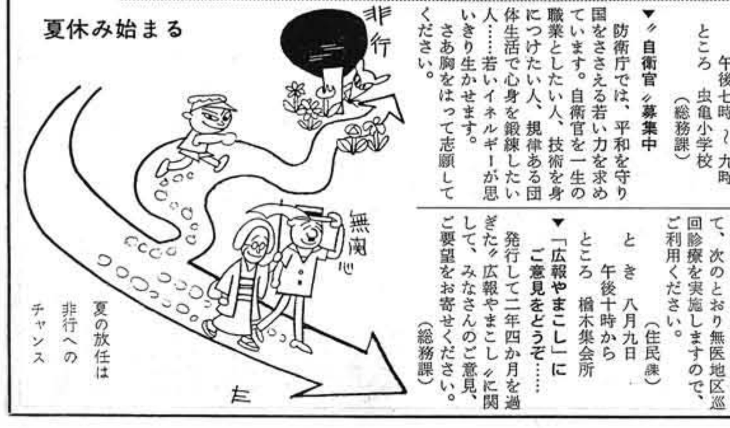
とき　八月九日
午後十時から
ところ　楢木集会所

（住民課）

▼**「広報やまこし」にご意見をどうぞ……**

発行して二年四か月を過ぎた〃広報やまこし〃に関して、みなさんのご意見、ご要望をお寄せください。

（総務課）



夏休み始まる

夏の放任は非行へのチャンス

低利の融資で経営合理化を……

〜農林水産業振興資金のあらまし〜

県は地域の農林漁業を振興し、経営の近代化と合理化をはかって所得を伸ばし、また、生活環境を整備するための資金として「農林水産業振興資金」を定め融資をしています。これは農協や農林中央金庫などを窓口として貸し付けているもので、利子は県と村が一部を補助するため、貸付利率は年4.5％〜5.0％と低利になっています。また、融資する額は事業費の8割以内で、希望者は毎年4月、7月、10月、1月の末日までに管内金融機関に申し込んでください。概要は次の一覧表のとおりです。

新潟県農林水産業振興資金一覧表

資金の種類		対象となる事業	借受資格者	選定条件	標準事業費	償還期限	据置期間	貸付限度額	基準金利	利子補給率		末端貸付利率
										県	市町村	
					円	年以内	年以内	千円	年％以内	年％以内	年％以上	年％以内
1号	経営規模拡大資金	(1)肉用素牛肉用素豚，ひなの購入及び飼料諸資材の購入並びに草地改良 (2)花き・花木・野菜・施設園芸・特用作物等の種苗・肥料・農薬・出荷用資材の購入	農業を営む個人及び農業を営む団体	(1)自立経営を確立しようとするものであって当該農業経営に係る計画の目標年次(3年計画)の農業所得がおおむね100万円以上(団体にあっては構成員1人当りとする)であること。 (2)貸付は営農設計実施の初年度を原則とする。	(1)肥育用素牛購入費 短期肥育1頭当り 130,000 若令肥育 〃 70,000 (2)肥育用素牛の飼料諸資材購入費 短期肥育1頭当り1か年 90,000 若令肥育 〃 70,000 (3)肉用素豚購入費1頭当り 6,500 (4)肥育豚の飼料諸資材購入費 1頭当り 10,000 (5)採卵鶏のひな及び飼料諸資材購入費 1羽当り 1,200 (6)採肉鶏のひな及び飼料諸資材購入費 1羽当り 200 (7)花き・花木の球根種苗及び肥料農薬資材購入費 10a当り 350,000 (8)野菜・施設園芸・特用作物等の種苗，肥料，農薬，出荷用資材購入費 10a当り 100,000	5	2	個人 (最高) 2,000 (最低) 200 団体 (最高) 5,000 (最低) 500	8.5	2.0	2.0	4.5
2号	主産地育成資金	1号資金に準ずる。	農業を営む団体	(1)当該作物に係る農協の指導流通体制が整備していること。 (2)導入市町村の生産規模が次の表のAに掲げる目標(3年以内)に到達するため一借入れ者当りの導入等がBに掲げる規模であること。 作物　A 生産規模の目標　B 拡大規模 肉牛　年間出荷頭数 300頭以上　10頭以上 肉豚　〃 1,500 〃　150 〃 採卵鶏　常時飼育 50,000羽以上　5,000羽以上 採肉鶏　〃 50,000 〃　1,000 〃 特産　栽培面積 3.0ha以上　0.3ha以上 野菜　〃 1.0 〃　0.1 〃	1号資金に準ずる。	5	2	(最高) 5,000 (最低) 500	8.5	2.0	2.0	4.5
3号	内水面漁業振興資金	錦鯉，鯉，ニジマス，ドジョウ，アユの養殖	農業を営む個人	年間養殖見込数が次の基準に達する見込みのものであること。 (1)鯉 ア錦鯉 1,000尾以上 イ鯉 500kg以上 (2)ニジマス 500 〃 (3)ドジョウ 200 〃 (4)アユ 3,000尾以上	(1)越冬池 1件当り 200,000 (2)養魚池 〃 200,000 (3)種苗 ア錦鯉 ㋐選別1尾15円　㋑無選別 〃 4円 イ鯉 kg 500円 ウニジマス 1尾4円 エドジョウ kg 400円 オアユ kg 3,000円 (4)錦鯉―親鯉1尾50,000円 (5)飼料諸資材	5（(1)(2)） 3（(3)〜(5)）	1 1	(最高) 1,000 (最低) 100	9.0	2.0	2.0	5.0
4号	農林産物加工資金	(1)農林産物の加工原料購入	農林産物加工団体			3	1	(最高) 5,000 (最低) 500	9.0	2.0	2.0	5.0
		(2)木炭の原料購入	農業を営む個人		1㎥ 1,100円			(最高) 1,000 (最低) 100				
5号	林業振興資金	森林組合が組合員の立木を購入又は受託して行う素材生産	森林組合		1㎥当りおおむね17,000円	3	1	(最高) 5,000 (最低) 500	9.0	2.0	2.0	5.0
6号	生活環境整備資金	屋外集会施設部落道，防犯灯，非常ベル，案内版及び排水施設等の改良造成，取得	環境整備団体			7	1	(最高) 3,000 (最低) 300	9.0	2.0	2.0	5.0

※7号、8号資金は省略

虫亀の二連覇成るか

二十二日（土）に村民運動会

第二回めを迎えた総合レクリエーション大会（親善運動会）は、新潟日報社のご後援を得て八月二十二日（土）午前九時三十分から虫亀を会場にして開かれます。

村民相互の親睦と体力づくりをすすめるため、五つの公民館対抗で昨年から開かれているもので、ことしは体育館、校庭、グラウンドの三会場に分かれてレースが展開されます。

昨年は虫亀公民館が総合優勝し村長杯を獲得しましたが、果してことしも地元の利を生かし二連覇（ぱ）が成るか、また、他チームの追いあげが効を奏すか興味ある熱戦が期待されます。また、ことしは参加範囲を広げるためレクリエーション種目もふえており、選手も応援席も一体となった楽しい一日となるよう、多数のみなさんの参加を望んでいます。

種目は次のとおりです。

①アベック二人三脚、②借物競争、③スプーンレース、④むかで競争、⑤綱引き、⑥リレー、⑦ボールけり競争、⑧バレーボール、⑨卓球、⑩紅白玉入れ、⑪盆おどり、

チームの編成や応援の方法などについては、地区役員を中心に準備中のことと思いますが、積極的なご協力をお願いします。

ご存知ですか

恩給年金は自動的に貯金できる

「振替預入」のご利用を

恩給、遺族年金、厚生年金などを支給日ごとに郵便局へ行って受け取るのはめんどうだとお思いの方には振替預入（ふりかえよにゅう）の利用をお勧めします。

「振替預入」は、郵便局が恩給・年金を自動的に通常貯金へ預け入れる制度です。支給日以後ついでのときに郵便局へ貯金通帳を持っていくと、支給日に貯金したことにして通帳へ記入してくれます。

通常貯金ですから現金が必要なときはいつでも払い出せますし、そのままにしておけば利子もつきます。

振替預入の申し込みは恩給・年金証書と貯金通帳、印章が必要ですが手続きは簡単です。

季節の話題

七月の後半から八月の前半がいちばん暑い季節です。暦のうえでは八日が立秋ですが、実際はまだまだきびしい暑さが続きます。

でも、これで夏も峠を越し、秋へ向う気配がどことなく感じられます。

さて、八月は和名で「はつき」といいます。日本書記の神武天皇東征の条にこの呼び名が出ていますから、ずいぶん古くから使われていたようです。

その由来は八月（新暦では九月）になると、そろそろ木の葉が落ちる。つまり〃葉落月〃というところから「葉月」といわれるようになった。また、八月は稲の穂がふくらむ──つまり穂がはる月──が縮まって「はつき」となったなどといわれています。

いずれにしても自然の移り変わりの一季節を言い現わしたものです。

暑い暑いといっても雲の色、風の音、また身の回りの起居の間にも秋が近づいたという感じがしてくるものです。昼はセミの声、夜は盆踊りとにぎやかな八月ですが、お子さんの夜ふかしには十分注意してやりましょう。

今月の税金

村（県）民税 第2期分
国保保険料 第3期分
の納期です

31日までに忘れずに納めましょう

個人事業税（県税）の第一期分の納期も今月です

山古志よもやま

古文書の話

(10)

郷土の歴史を調べるにはその基礎となる遺跡や遺物、伝承などが中心となるが、もっとも重要となるものに文書史料がある。

この文書史料中には古文書（こもんじょ）と呼ぶもの、忘れないために書き記した記録と呼ばれるものがある。いずれも遺跡や遺物などを裏付けるものとして欠くことのできないものであり、私が石仏の年号を調べているのも、郷土の歴史の裏付けにしたいからである。

しかし、その古文書や記録の多くは反古（ほご）にされてしまった今日では、万葉の昔は言わずもがな近世に属する江戸時代以後のことすら明らかでない地方がほとんどである。

とくに、山間へき地の集落では口頭をもってものごとを済せた傾向があり、このため文書としての記録が少なく歴史調査をきわめて困難にしている。

佐藤村長さんから種苧原の坂牧家の古文書のことにあわせ、郷土史研究にご造詣の深い広神村・滝の又の山屋茂作先生を紹介され、さっそくお伺いしてお話しをお聞きし、古文書の目録に目を通した。

その目録によると、いちばん古い年代の文書は正保四年（一六四七年）に中野、種苧原を検地した正保の検地帳であった。

そのほかには桑名御務、高反別書上帳、安政二年の御検地惣寄書、牧野公御検地帳、宝歴七年の田方小前合毛帳、享和四年の石取帳、また、寛政十二年の貯稗小前帳、享保十年の種苧原村損地御改めにつき書上帳、延享二年の大地図など相当数の古文書が保存されている。

木籠の松井ミヨさんが所蔵するものには正保の検地帳、延享二年の山論に付訴訟返答書、享保六年の竹沢村新組帳、天明元年の五人田検地帳などがあった。

また、楢木の畔上重作さんの所蔵するものには天明元年の虫亀村蓬平枝楢ノ木検地帳、戊辰戦の人足順番帳などがある。

〃検地帳〃の〃検地〃とは年貢高を定めるための土地調査であり、世に言う「大閤検地」は天正十年（一五八二年）秀吉が山崎の戦いの直後、山城国（京都）を検地したのをはじめ全国を統一した基準ですすめ「天正の石直し」ともいわれる。